

ひらつか 民児協だより

一支えあう 住みよい社会 地域から



(写真は、岡崎地区の子育てサロンでの一コマです。)

『人のつながり』が活動そのものである
民生委員児童委員活動。
コロナ禍の中、「自粛」と「心配な」
思いのはざまに揺れ動く心。
新任委員の悩み・思いと
各地区の新たな活動を通して、
ウイズ・コロナの時代の
活動を考えてみませんか。

民生委員児童委員の皆様へ

民生委員児童委員のみなさまには、この高齢化・少子化の社会にあって、助力を必要とされる方々に対し、寄り添う心と行動で、日々献身的な奉仕の活動を展開していただき深く深く感謝しております。有難うございます。

今日3密を避ける環境下において、その大変さは筆紙に尽くせない大きなご苦勞だと思えます。しかし、触れ合うにも、寄り添うにも決して従来通りの動きが出来ないことで悩むことなく、みなさんの優しい笑顔と思いやりを待たれている多くの方がいることをバネに頑張ってください。

さて、昨年来のコロナ禍の中、寄り添いの行動も思うに任せない厳しい状況下にあります。日々の活動も種々の制約から、生活上の様々な悩みや相談

事を受けるにも、行政や身近な地域包括支援センター等へのパイプ役、サポート役、見守りや心配り等々、多岐に亘る活動だけに並々ならぬご心勞をお掛けしています。

今日3密を避ける環境下において、その大変さは筆紙に尽くせない大きなご苦勞だと思えます。しかし、触れ合うにも、寄り添うにも決して従来通りの動きが出来ないことで悩むことなく、みなさんの優しい笑顔と思いやりを待たれている多くの方がいることをバネに頑張ってください。

どうぞ、今後共前向きに出来る範囲での工夫を凝らし活動して下さることを心から大いに期待しています。

平塚市自治会連絡協議会
会長 秋山 博

コロナ禍の活動

真土地区

自粛で高齢者調査も桜まつりや公園祭り、敬老の集いなど、ことごとく中止になった。一年半、何をなすべからず悩まされた。訪問活動は控え、電話やビデオを活用しました。例年実施している小中学校との学校訪問も全委員参加ではなく、広報誌「えんがわ」の編集委員のみによる校長先生とのヒアリングに切り替え、定例会や紙面で情報共有しました。

子育て支援「びよびよ」では五月のこのほりキックを社協の方々と協力して作り、公民館の外で差し上げたことにしました。民生委員の研修もできませんので、皆で話し合い、小学校の希望でドッチボールを差し上げて喜ばれています。また、予算の一部を使って委員全員に防災キットと災害用ラジオを用意し、普段使いして、いざというときに慌てないようにしています。

城島地区

なかなか収束の兆しが見えず、あらゆる事業が思うようにできず私を含め新任委員の多い中で活動に苦戦しながらも関係の深い地区社協、ふれあいの里(城島

福祉村)、よろず相談センターにおおすみ等連携をとり心が通い合う活動を心掛けています。

必要に応じ、定例会に機関団体の関係者に参加していただき、本年四月には、よろず相談センターにおおすみの参加をお願いし支援を必要とする高齢者への対応など、情報共有をしました。

また、子育てサロン「ほっかぽか」は、コロナ感染拡大のため中止。何かと不安を感じストレスの多い日々を過ごしている親子も多いのではと、地域と親子をつなぐ「ほっかぽか」をつなぐ2020年度を企画、未就学児には児童書や幼児書、小学生には、文房具を手書きカードと共に配布するなどコロナ禍の活動としてスタートしました。

横内地区

近年の日本では、貧困に悩まされている子どもの数も多く問題となっている。未だに問題の解決までは至っていません。

令和二年度はコロナ感染拡大の影響により地域関連事業は大半が中止となりました。四月六月は、金目公民館が閉鎖のため毎月の「定例会」が駐車スペースにて青空開催をしました。この状況下の中で、地区独自事業として「研修会」を開催することが出来ました。講師は組織内の委員にお願いし、テーマを「高齢と老化」としました。各委員熱心に聴講していました。年齢を重ねることに老化が進行し、身体機能が低下することも否めません。少しでも老化を防止・健康維持するためにも、日頃の散歩・ウォーキングを今後も続けていこうと痛感しました。

金目地区

令和二年度はコロナ感染拡大の影響により地域関連事業は大半が中止となりました。四月六月は、金目公民館が閉鎖のため毎月の「定例会」が駐車スペースにて青空開催をしました。この状況下の中で、地区独自事業として「研修会」を開催することが出来ました。講師は組織内の委員にお願いし、テーマを「高齢と老化」としました。各委員熱心に聴講していました。年齢を重ねることに老化が進行し、身体機能が低下することも否めません。少しでも老化を防止・健康維持するためにも、日頃の散歩・ウォーキングを今後も続けていこうと痛感しました。

令和二年度はコロナ感染拡大の影響により地域関連事業は大半が中止となりました。四月六月は、金目公民館が閉鎖のため毎月の「定例会」が駐車スペースにて青空開催をしました。この状況下の中で、地区独自事業として「研修会」を開催することが出来ました。講師は組織内の委員にお願いし、テーマを「高齢と老化」としました。各委員熱心に聴講していました。年齢を重ねることに老化が進行し、身体機能が低下することも否めません。少しでも老化を防止・健康維持するためにも、日頃の散歩・ウォーキングを今後も続けていこうと痛感しました。

八幡地区

現在、八幡地区民生委員児童委員協議会は民生委員九名、主任児童委員二名の体制で活動しています。昨年から続く新型コロナウイルスの影響で感染対策に配慮し、様々な環境変化への対応にも苦慮しながら地道な活動を続けています。毎月の定例会は、体調管理と会場の換気や消毒、飲食の一時停止、会議時間短縮など出来るだけの取り組みを実施。

お知らせ

今回の33号は読み応えがある内容です。じっくり読んでください。
表紙：ご覧の通りです。秋山平自連会長より心強いメッセージを戴きました。
中面：特集『新任 悩みそして奮闘』です。新任さんも頑張っています。
裏面：各地区の「コロナ禍の活動」と高橋氏寄稿です。

活動記録について

高橋 國明

民児協だよりの原稿を依頼されて、民生委員児童委員十五年間の活動記録を見返しました。Iさん、Kさん、Hさんと支援をした方々を思い出しました。その中のお一人に行なった支援活動をお話しします。

その方は、ひとり暮らし高齢者で生活保護を受けていました。平成二十三年にテレビ放送が地上デジタル放送に変更されることになりました。地デジチューナーの支援をお話ししたところ、これからはテレビを見ないと断られました。市役所、NHK、大家さん等に連絡をとり、工事を実施していただきました。後で大相撲中継が大好きだと大変喜ばれました。

平成二十七年二月に認知症の症状があるようなので、高齢者よろず相談センターの職員と共に訪問し

活動記録の活用について四之宮地区民児協では毎月定例会に委員別活動報告月別集計表を配付し、相談・支援の事例を発表して問題の共有を図っています。

ひらつか民児協だより 第33号
令和3年6月1日発行
発行：平塚市民生委員児童委員協議会
編集：広報部会
住所：平塚市浅間町9番1号
電話：0463-21-9848



地域の身近な相談役 民生委員児童委員！

令和元年十二月の一斉改選で、百三十数名の人が新たに民生委員児童委員になりました。

この一年余を新任の方に振り返ってもらいました。

題して『新任、悩み、そして奮闘す!』



同じ心で

南原 武藤幸子

初めての訪問、顔を覚えるまでは、と毎月伺っていたら「まじめなのね」「お昼は遅いのよ」とか、お出かけ前だったり、最初の頃は、いつ伺ったら良いのかと悩んでいました。お話しているうちに共通の趣味や知り合いがわかったり、行事中止の連絡で仲良くなったりで。そんな中、「今度、息子に会ってほしい」と言われた時は嬉しかったです。その矢先、亡くなったと聞いた時はショックでした。

お会いした方の中には、マスク越しもあり「耳が遠くなってね」と言われたり、お話が長くなった時の切り上げるタイミングとかが難しく思っています。

色々な方がいられます。対応はお相手とか状況によって異なるかもしれませんが、どの様な時でも区別する事なく同じ心で接して行きたいと思えます。



What・Whyを大切に

土沢 小清水茂

一昨年、当地区新任五名が委嘱され活動開始、数回の研修会での勉強や、地区委員会等情報を得ながら月日が過ぎました。新任みなさんの経験や抱負を織り交せて、

- ★困ったこと
 - ・一番はコロナ禍で、情報収集や行事が出来ず見えないプレッシャーがあった。
 - ・新旧委員引継ぎで書類等でのやりとりだけで、地域の状況(お顔)が見えない。
 - ・得た個人情報扱いに苦慮、電話に出てくれない、聞き取れないと苦情あり
- ★経験し良かったこと
 - ・慰問金品、ふれあい弁当・子育て広場に皆さんが大変喜んでいただけました。
 - ・定例会等で先輩委員に親切丁寧に説明等対応頂いた。
- ★悩んだこと
 - ・被害妄想の方がおり警察さだに。
 - ・対応に苦慮。
 - ・毎月定例会で配られる資料の扱い?地域の方に伝えたい?



- ★これからの抱負
 - ・特に一人暮らしの方との綿密な関係作り、先輩委員の助言を多く聞く。
 - ・地域自治会との連携を強め、情報交換や諸問題を解決していきたい。
 - ・新人なるゆえに、わからない事多々あるがそれゆえWhat・Whyを大切に活動し、地域の皆さんに尊敬と感謝される委員を目指したい



委嘱式

不安の中で見つけた光

中原 田中昭明

私達の暮らす地域は総合公園が隣接する、素晴らしい環境に恵まれた所です。民生委員児童委員、総勢二十名、再任八名新任十二名で構成されています。

委嘱を受けた当初は一期三年間を全うできるか?家族全員や地域の人達の応援があるとは限らない。何から手をつけたらいいのかが等々。不安と戸惑い暗中模索での出発でした。

その後、第二次大戦以来の危機と言われる世界的なコロナの蔓延。その中をどうすれば、要支援者の実態把握ができるか?「一人暮らし調査」が二年連続中止となる中、孤独死されていた事例が数件ありました。どういう状況になるかが私達の活動を止める訳にはいかない。ご近所の人達からの情報は有難い限りです。

「助け上手、助けられ上手」を痛感しています。今後様々な工夫をしながら実践と研修を積み、先輩委員のアドバイスを仰ぎながら「中原」の文化と伝統を創造していきたいと思えます。「高齢社会」は「幸齢社会」ですから。



出向きサロンに参加

気安く話していただけるように

なでしこ 佐藤由美子

民生委員として活動を始めて一年五ヶ月、ドキドキしながら訪問を少し顔も覚えていただけただけかな?と思った頃に新型コロナウィルスがこの平塚市にも拡大し始め自粛訪問活動が余儀なくされました。

電話やインターホン越しで近況をお聞きしたり、訪問する時はフェイスシールド、マスクを装着し、消毒を徹底しました。しかし、コロナであまり人と接していないせいか訪問するとすごく喜んでくださる方々もいらして、時間を忘れて話してしまうことも!

私の担当のお一人暮らしの皆さんはちょうど子どもさんが私と同じ歳くらいとのこと、とても可愛いがっていただき、逆に心配されてしまうことも(笑)

地域の活動では、コミュニティ食堂(なでしこ放課後食堂)で月一回、現在お米やご寄付いただいた食品などを無料配布しています。民生委員を通して必要な方々に届けていただいています。

まだまだ慣れませんが、担当の皆さんの娘として気安く話していただけるよう今後も心がけていきます。



地域に根ざした活動を

金田 木間久雄

新人研修や定例会議等に出席したり行事案内で一人暮らしの方を訪問するなど、民生委員の役割が少しずつわかってきたところでコロナが発生。各種行事の中止や訪問の自粛で何をしていたかわからない状況でした。緊急事態宣言解除後は担当地区内を歩いている見守りや散歩中の方とお話ししたり、出向きサロンでは一緒に脳トレや体操をして参加の皆さんの元気な様子を拝見しています。幸い、顔馴染みの方が多く、気さくに話しかけてくださいます。

また、オンラインではありますが、広報部会で他地区の方々との広報紙作成の作業は新鮮で興味深いものでした。広報部会・ちいき情報局を通じて、民生委員児童委員の活動を伝え、地域のつながりが広がっていくことは楽しみです。



岡崎地区の子育てサロン *記事と直接には関係しません

試行錯誤しながら

岡崎 西山隆

民生委員児童委員になった当初は、独居高齢者の方を訪問する時には気軽に相談していただけの雰囲気作りが重要と考えて会話を始めたのですが、気がいすぎて堅苦しくなり、思うように会話を出来ないことが多々ありました。

新任から一年五ヶ月が経過していますが、気軽な雰囲気を目指して試行錯誤を重ねながら、独居高齢者の方を訪問しています。コロナ禍では訪問を避けて、直接対面しない方法として手紙をポストイングしています。

この記事を書いている時点では、平塚市における新型コロナウィルスのワクチン接種に関する情報などを届けています。

